



おかげさまで70周年 赤い羽根共同募金運動はじまる

幸せを 羽根にたくして つなげよう

10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。



社協だより

166号

平成28年10月1日

発行

社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会

〒811-3437 宗像市久原180

メイトム宗像2階

TEL 0940-37-1300

宗像市
社会福祉
協議会

Facebookはじめました★



https://www.facebook.com/munakatasakyko/

“いいね!”お待ちしております

宗像市の地域福祉に関する情報をより身近に届けます!
宗像市ボランティアセンター・宗像市障害者生活支援センターのページもあります。いいね!やコメントお待ちしております。

たすけあいの心

日本で共同募金運動が始まって今年で70年を迎えます。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活も意識も変わってきました。共同募金は、人々がともに生きていこうという「たすけあいの心」に支えられ、人々の幸せを願ってともに歩んできました。

平成27年度の募金実績額は、1233万7021円

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

平成28年度募金の使いみち

平成27年度に宗像市で

一世帯700円の目安額

市全体の「目安額」は1233万7021円ですが、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのか」ということが分かりにくいため、「一世帯700円を目安に協力していただく」と、計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることになっています。

共同募金は計画募金

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目安額」になります。

平成28年度の募金目標額

今年度の「目標額」は、昨年度実績と同額の1233万7021円です。この目標額を達成することで「平成28年度共同募金の使いみち(表1)」のような事業・活動を平成29年度も安定、継続して行うことができます。

多くの人に支えられている共同募金

「共同募金実績額の推移(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。また、地域のいろいろな場面で、自治会長や組長、事業所や公共施設、学校の先生や児童、生徒

災害等準備金の積み立て

熊本地震の被災地では震災直後から災害ボランティアセンターが設置され、ボランティアの受け入れやコーディネートを行っている。共同募金会では、今回の地震被害の規模、また熊本県内17か所で開設された災害ボランティア活動の状況により、全国の都道府県共同募金会より熊本県共同募金会に合計2億6千万円を拠出することになりました。毎年、みなさんから協力いただいている赤い羽根共同募金の災害等準備金が熊本地震の災害ボランティア活動を

平成28年度共同募金の使いみち(表1)

平成27年度の実績額は、1,233万7,021円でした。ありがとうございました。この募金は平成28年度、下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさまのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

項目	金額
高齢者の福祉に ●在宅介護者の会の支援 ●小地域ネットワーク活動への助成金 ●配食サービスボランティアの支援 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●民生委員児童委員協議会への助成金	1,201,000円
障がい児・者の福祉に ●身体障害者福祉協会の支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●宗像コスモス会への助成金	2,192,000円
ボランティア活動に ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	534,000円
福祉会活動の支援に ●地域住民の自主的な地域福祉活動	2,793,000円
児童・青少年の福祉に ●福祉教育読本「ともに生きる」の活用 ●福祉教育推進校(園)事業	1,225,722円
子育て支援活動に ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子寡婦福祉会の支援	525,000円
県内の福祉施設や災害等準備金に ●県内全域を対象とした社会福祉施設や福祉団体に ●災害等準備金に	2,664,089円
情報提供・啓発活動に ●社協だよりの発行	469,000円
共同募金の事務費に ●チラシの作成、資料の購入など	733,210円

共同募金実績額の推移(表2)



赤い羽根共同募金配分団体紹介 ひとり親家庭の 仲間の輪が 広がっています!

宗像市母子寡婦福祉会
会長 高山 豊子さん

当会は、昭和56年に発足した長い歴史のある会であり、ひとり親家庭の悩みや不安などを仲間と話し合い、助け合っています。

現在は、約30人の会員が活動しており、1日バスハイクや川遊び、研究会などの活動を通して、親子の交流やひとり親同士の仲間作りをしています。共同募金の配分金のおかげで、悩みや気持ちを

共有する仲間ができて、仕事と子育てを両立することができています。

このような活動ができるのも、皆さまからいただいた赤い羽根共同募金配分金のおかげです。心より感謝を申し上げます。これからも頑張っています。活動が続いていきますので、ご支援、ご協力をよろしくお願いします。



ボランティアセンター通信

土・日曜日、祝日を除く午前8時30分～午後5時
ホームページアドレス <http://kouyukkan.com/v-net/>
TEL 0940-37-4100 FAX 0940-37-4101
メールアドレス v-net@syakyo.munakata.com

自分や相手の「しあわせ」につなげていこう! ～「ジュニアボランティアスクール」より～

小学1年から6年が受講し、こども福祉員「バンビ」「ピッコラ」合計31人が誕生しました。今回は、自分自身を見つめ直し、「今」そして「これから」の自分にできることを見つけてみました。

「バンビ」コースは、 災害模擬訓練に挑戦!

平成23年に発生した東日本大震災、そして今年4月の熊本・大分の震災をはじめ、日本各地で災害が頻発しています。防災学習は、保護者のみなさんにも関心が高かったです。災害模擬訓練は、「福岡市民防災センター」で受講。地震や強風、火災などを体感した受講者は、その恐ろしさに驚きを隠せませんでした。防災に関する講話では、「とにかく自分の身は、自分で守ること。これがみんなの安全につながる」というアドバイスを受けました。「じしんがおきてもみをまもる」「つなみやじしんはいなくなるかわからないので、



早く火を消さなきゃ!

「ピッコラ」コースは、
「支えあって、みんなに
やさしいまちづくり」
について学びました。

「今、自分がどんな人々とつながっていますか?」人はいろんな人とつながって生きています。そんな当たり前のことを改めてふり返り、どんな人に支えられ、どのように支えられているかを考えてみました。

「雨の日も風の日も私たちの安全を見守ってください。地域パトロールのみならず、ありがとうございます!」

そなえることがたいせつというところがわかった」と災害マインドを高めることができました。
いざという時に、どう行動するか、どういう備えをするかを日頃から家族で話し合っておく必要があります。災害から命を守るため、親子、家族で防災について考え、一緒に行動する、そんなヒントのひとつになれば幸いです。

「みんなにやさしいまちづくり」のヒントを探しに「福岡市民防災センター」「福岡市博物館」へフィールドワークに出かけた2日目。阪神淡路大震災以降その教訓を活かし、近隣生活圏では「自主防災組織」すなわち「防災福祉コミュニティ」の結成が勧められています。参加者も地域住民のひとりとして、災害に対する被害を最小限に食い止めるためには、災害発生時に、自ら当事者として自覚的にどのように行動するべきかを学びました。また、福岡市は、「みんながやさしい、みんなにやさしい」「ユニバーサル都市・福岡」をまちづくりの目標としています。そのような都市の博物館が実際にどんな工夫がなされ、どのような設備が取り入れられているか、検証してみました。

「非常用品を備え、家具を固定しておくことが大切だと分かった」
「トイレの中には、いっしょに使い方ができる「ユニバーサルシート」があったよ」

最終日の学習「災害図上訓練」は、参加者が住む各地区の地図を用いて、地域で大きな災害が発生する事態を想定し、危険が予測される地帯または事態をシートの上に書き込んでいきました。でき上がった地図は、ハザードマップの役割を果

たし、事前に危険を予測できると同時に、避難経路、避難場所、即応性ある避難準備としての対策や検討など、参加者の間で情報を共有することができました。参加者が、周囲の小さな子どもたちや高齢者を率先して引き連れ、安全な場所へ避難することにつながります。また、自分たちの安全はもとより、日常から家族と災害時における話し合いを持ってほしいとの願いを込めて、福岡県消防防災指導課のみなさんは熱心に興味深く指導されました。

「災害のこわさをわすれずに、家族で危険な所と危険な場所をかくごんごん」
自分や他の人の「しあわせ」や「生きかた」について考えてみると、みんなそれぞれで、違ってくるものだと気づきました。ピッコラのみんなには、自分で考えて、自分なりの「しあわせ」ってなあに? 「よりよい生きかたってなあに?」の答えや考えを持ってほしいと思います。そして、他の人の「しあわせ」や「よりよい生きかた」を、自分より「良い悪い」で決めるのではなく、相手の声に耳を傾け、いっしょに考える、そんな人になってほしいです。

みなさん、「バンビ」「ピッコラ」の応援、よろしくお願ひします。



この場所が危険な所だね



こども福祉員ピッコラです

※「バンビ」[bambi] [bambino] (子ども) を省略したと思われる「ピッコラ」[piccola] [piccolo] (小さい) ともにイタリア語が由来です。
※防災福祉コミュニティとは、「市民、事業者及び行政の協働により、地域福祉活動と地域防災活動との緊密な連携を図りつつ、これらの活動に積極的に取り組む「コミュニティ」のことです。つまり、日常生活の営まれる小地域において、住民相互の交流活動によって育まれた住民相互の助け合いの絆を基礎にして、平時には防災活動と連携しながら、見守り訪問活動、配食サービスなど地域福祉活動に努める一方、災害時には初期消火、救出救護、避難誘導の災害対応活動に努めるコミュニティです。



わたしたちができること、まずは知るそこから

平成28年度 ボランティア入門講座

いつくるかわからない災害、自分にも何かできることはないだろうかと考えている人も多しはず。そんないざという時のため、被災地支援のため『防災』『災害ボランティア』について学んでみませんか? 「災害ボランティアってどんな感じか知りたい」「ボランティア活動をする前にまずは基本的な事を教えてほしい」そんな人におすすめの講座です。

プログラム1 「防災学習」 9:30~

- ・近年の災害の状況
- ・日常から大切にしておきたい視点
- ・災害ボランティア・センターについて



講師：福岡県社会福祉協議会 地域福祉部 地域課 野間口 令さん

プログラム2 「被災地での災害ボランティア活動」 10:50~

- ・現地活動報告 (被災者への配慮、ボランティアとしての心構え、自己管理など)
- ・災害時相互協力協定

Profile
株式会社 住幸院(すまいごらう)代表取締役
国家プロジェクト大工養成塾 大工志
全国大工志の会 会長
NPO日本民衆再生協会 正会員として
住宅の設計、施工、増改築、
古民家再生などを行う。
公益社団法人 京保青年会議所に所属し、
地域防災・市民活動全般をになう
地域創造委員として活躍



講師 池尾 拓さん

募集中のボランティア活動の紹介もあり、ボランティアセンターへ登録もできます。

日時 平成28年 11月24日 (木)
9:15~12:15

受付9:00から
会場：メイトム宗像 202 大会講室
(宗像市久原 180)

参加費：300円 (保険代 資料代)
持参品：筆記用具、飲み物 (必要なら)

定員：20人 (先着)

参加者全員に
防災グッズ
をプレゼント



親子笛
IDカードを付けて
マイボイスカードとして
携帯できます

申し込み・問い合わせ

宗像市社会福祉協議会
宗像市ボランティアセンター

TEL 0940-37-4100
FAX 0940-37-4101
E-mail v-net@syakyo.munakata.com

申し込みの際は、
講座名・名前
年代・連絡先を
お知らせください



障害者生活支援センター

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時
☎(34)24111 FAX(34)24222
メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

ピアサポート事業
参加者募集!
グラウンドゴルフを
楽しもう

同センターでは、障がいのある人やピアサポーター(障がいのある相談員と一緒に活動するピアサポーター)を推進します。

今回は、スポーツ推進委員会の協力で、グラウンドゴルフをします。体を動かしてリフレッシュしませんか。地域で仲間作りをした人、仲間と一緒に余暇活動を楽しみたい人の参加を待っています。初めての参加も大歓迎!

詳しい内容については、同センターに問い合わせてください。

日時 11月13日(日) 午前9時30分～正午(予定)

場所 宗像中央公園 ゲートボール場(市民体育館横)

対象 障がいのある人 定員 20人程度

参加費 無料
申込期間 10月3日(月)～10月14日(金)

問い合わせ先
☎(34)2411
FAX(34)2422



ほんのひと時、介護の手を休めてリフレッシュしませんか 在宅介護者デイリー(日帰り) リフレッシュセミナー参加者募集

市内在住で、在宅介護をしている人を対象に「在宅介護者1泊リフレッシュセミナー」を開催します。このセミナーは、在宅介護をしている人の「こころ」と「からだ」のリフレッシュを目的として実施します。今回の行先は、八女市です。あなたも介護の手を休めて、同じ介護者との楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 主催 市、市社会福祉協議会 ●日程 11月2日(水)
- 対象 市内在住で、在宅介護をしている人
- 行先 八女市(予定) ●参加費 1人1,000円
- 募集人員 30人(応募多数の場合、抽選)
- 申込方法 10月14日(金)までに、市社会福祉協議会に「名前」「年齢」「住所」「電話番号」「介護をしている人」を電話やファクス、Eメールで申し込み

ご本人の承諾なしに今回受付した「個人情報」を他の事業などで使用することはありません。

■申込先 市社会福祉協議会

※電話・ファクス番号、Eメールアドレス「社協だより」の末尾を参照



「八女伝統工芸館」

地域福祉文庫講演会参加者募集

絵本を通じてお子さんに大切なことを伝えてみませんか? 市社会福祉協議会と市地域福祉文庫連絡協議会では、「昔話は子どもを育てる」をテーマに講演会を開催します。

子どものすこやかな成長のためにも、ゆっくりお話を聞いてみませんか。

- 日時 10月24日(月) 10:00～12:00(9:30から受付)
- 会場 メイトム宗像202会議室
- 講師 きりん文庫 かすが 徳永 明子さん
- 対象 子育て中の人、関心のある人
- 定員 先着50人 ●参加費 無料
- 託児あり 5カ月以上から 先着15人(無料)
- 申込方法 10月14日(金)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ申し込む



認知症サポーター 「ステップアップ講座(認知症疑似体験)」 参加者募集

市社会福祉協議会では、認知症サポーターとしてより具体的な活動を始めたい人や認知症に関する知識や情報を習得したい人などを対象に、認知症サポーター「ステップアップ講座」を実施します。今回は、福岡県社会福祉協議会による「認知症疑似体験」を実施します。認知症サポーターの多くの応募を待っています。

- 参加資格 宗像市在住、在勤の認知症サポーター(認知症サポーターは証として“オレンジリング”を所持しています)
- 実施日 第1回 10月19日(水) 14:00～16:00
第2回 11月28日(月) 14:00～16:00
※各回とも同じ内容、参加できるのはどちらか一つ。
- 会場 メイトム宗像 202会議室
- 講師 福岡県社会福祉協議会
- 参加費 無料
- 募集人数 先着各20人
- 申込方法 市社会福祉協議会へ参加者の「氏名」「住所」「電話番号」「参加日」「オレンジリングの所持の有無」を電話やファクス、Eメールで申し込み

※第1回は9/30(金)まで、第2回は11/1(火)までに申し込み

ご本人の承諾なしに今回受付した「個人情報」を他の事業などで使用することはありません。

■申込先 市社会福祉協議会

※電話・ファクス番号、Eメールアドレス「社協だより」の末尾を参照



ひとり親家庭 バスハイク参加者募集中!

市母子寡婦福祉会が、市内在住のひとり親家庭の親子を対象にバスハイクを開催します。今年は、しものせき水族館「海響館」に行きます。あなたも、ひとり親家庭の仲間と親子で楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 日程 11月12日(土)
- 対象 市内在住のひとり親家庭の親子
- 行先 しものせき水族館「海響館」
- 参加費 ▽会員 1人500円
▽非会員 1人800円
- 定員 30人(応募多数の場合は抽選)
- 申込方法 10月21日(金)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ電話で申し込む



社協だよりは、偶数月の1日号です(年間6回)
社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会
宗像市久原180番地メイトム宗像内 ☎(37)1300
大島支所 宗像市大島1809番地32ふれ愛センター内 ☎(72)22994
ホームページ http://syakyo.munakata.com/ メール info@syakyo.munakata.com
本会は、むななたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています

- 寄付 ありがとうございます
- 【香典返し(敬称略)】
- ・(故)尾仲智枝子(朝野)
 - ・(故)吉武美奈子(日の里)
 - ・(故)永尾ナミ子(城西ヶ丘)
 - ・(故)占部武光(池田)
 - ・(故)栗原文明(大穂)
 - ・(故)谷崎茂俊(自由ヶ丘)
 - ・(故)大田忠久(池田)
 - ・(故)七田徳男(鐘崎)
 - ・(故)神谷ウタ子(赤間)
 - ・(故)永野峯子(池田)
 - ・(故)時安徳子(大穂)
 - ・(故)山田洋子(三郎丸)
 - ・(故)中野雅泉(深田)
 - ・(故)大和多嘉則(三倉)
 - ・(故)石松美章(土六)
- (平成28年8月31日受付分まで)
- 市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。



県民介護講座

認知症について考えるつどいのお知らせ

- 日時 10月12日(水) 13:30～16:30
- 場所 クローバープラザ1階クローバーホール(春日市原町3-1-7)
- 内容 講演①「認知症になってもこの町で暮らし続けるための種まき」
講師 小規模多機能型施設めおといわ「ゆい」施設長 党一浩さん
講演②介護劇「認知症をやさしくつつみ(堤)こんで」
劇団つつみ
- 参加費 無料

■申込・問い合わせ先
福岡県社会福祉協議会(介護実習課)
☎092(584)3351

